

## 添付資料7 災害廃棄物対応の考え方

### 災害廃棄物処理対応の考え方

尾花沢市の災害廃棄物処理計画 P17 にあるように、環境衛生センター内に災害廃棄物ストックヤードを設け、災害廃棄物の処理を行うこととする。

災害廃棄物の処理パターンについては、次の4パターンを想定している。

#### パターン1

災害規模が小規模で、かつ、計画施設規模内（稼働時間及び稼働日数についても計画内）で対応可能な場合⇒人口減少等により、計画処理量に余裕が発生してくる分で災害廃棄物を処理する。

#### パターン2

災害規模が中規模で、かつ、稼働日数を増やせば対応可能な場合⇒生活環境影響調査は、計画稼働時間で365日稼働した場合での影響を調査しているため、事前に県と協議を行い、県の指導を仰いで災害廃棄物を処理する。

#### パターン3

災害規模が中規模で、かつ、稼働時間並びに稼働日数を増やせば対応可能な場合⇒稼働時間を増やす場合は、生活環境影響調査について再調査が必要になると考えられるため、その点も含め事前に県と協議を行い、県の指導に従った対応措置を実施後に災害廃棄物を処理する。

#### パターン4

災害規模が大規模で、かつ、稼働時間並びに稼働日数を増やしても、処理が長期間或いは数年に及ぶ場合⇒パターン1から3の対応に加え、処理の外部委託も併用して対応する。